

## 新制服（接客型）のデザインについて 団体交渉によって成果を勝ちとる！

私たちは、現在も取り組み中の「JR発足30年 あらゆる労働条件・労働環境の総点検行動」を通じて現場で働く組合員から、現行の制服の改善をはじめ、交換時の申請手続きの簡素化やプライバシーの保護などを求める声が寄せられました。寄せられた声を基に各機関で議論を重ね、現行の制服の改善要求として経営側に申し入れを行い4月13日に団体交渉を行ってきました。

経営側は2020年度以降順次、制服の見直し行なうことを検討するとはしましたが、私たちは安全で働きやすい環境を「労働組合」として維持・向上させることを第一に、新制服導入までの間、現行の制服についても改善を求めてきた他、新制服導入にあたり、職場から上がった声を新制服採用時にも反映させることを団体交渉で強く訴えてきました。

経営側は新制服について、今後も検討を重ねるとしてはいますが、現時点での「主な改善点」について説明を受けました。

### 【主な申し入れ事項に対する改善点】

- ①夏服、冬服共に黒色か濃紺の同色とすること。  
→夏服と冬服は同色とし、ダークネイビー色がベースとなる。
- ②衣替えの時期は社員個々の判断とすること。  
→夏服と冬服の着用期間は社員の自主判断とする。ただし、クールビズの期間は別途定めることとする。
- ③新幹線車掌の盛夏服をクールビズ（ノーネクタイ）とすること。  
→車掌（新幹線含む）全て同じ制服を着用となるため、盛夏服着用時はノーネクタイとなる。
- ④制服自体を軽くし、皺になりにくい生地とすること。  
→生地の軽さと伸縮性を改善する。



私たちは労働組合として、組合員の「声」を基に団体交渉を通じて、要求の実現にむけて取り組んでいます。今後も制服の「安全面」「健康面」「作業面」「プライバシーの保護」について、申し入れを行っていきます。

**「労働組合＝東日本ユニオン」に結集し  
働きやすい職場と労働環境を一緒に作りだそう！**